

昆虫たち

発見！
資料に潜む



展示期間：平成30年11月9日（金）～11月29日（木）

展示場所：図書館展示コーナー（11号館1階）

開館時間：10時00分～18時30分

資料と保存展 8

発見！資料に潜む

昆虫たち

資料保存がわかる5の言葉 + 図

～昆虫編～

1. 昆虫

昆虫は、動物界 - 節足動物門 - 昆虫綱（六脚綱）に分類されている動物を意味する。俗称としての“むし”は、昆虫以外のクモやムカデを含む小動物を示している。昆虫は基本的に脚が6本、翅が4枚あり、頭部・胸部・腹部の3部分で構成されている。

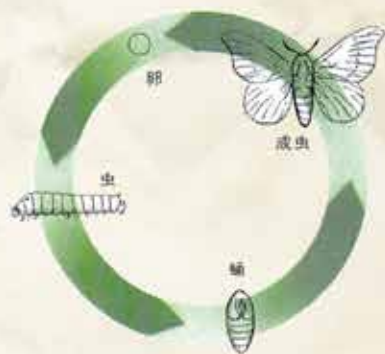
2. 文化財害虫

昆虫は29種目に分類することができる。その内の9種目が文化財に害をなす。シミ目、ゴキブリ目、シロアリ目、バッタ目、チャタテムシ目、コウチュウ目、ハチ目、ハエ目、チョウ目である。しかし、この9種目に属する昆虫の全てが文化財害虫ではなく、特定の種が害を与える。

3. 完全変態

昆虫が姿を大きく変化する「変態」の1つ。完全変態は、卵⇒幼虫⇒蛹⇒成虫と4ステージを経る。幼虫と成虫では姿が完全に異なり、大規模な変化のために蛹となる。

例) コウチュウ目



4. 不完全変態

昆虫が姿を大きく変化する「変態」の1つ。不完全変態は、卵⇒幼虫⇒成虫と3ステージを経る。幼虫と成虫では姿が似ている箇所もあれば異なる箇所もある。完全変態に含まれない有翅昆虫は全て、不完全変態に含まれる。

例) トンボ目



5. 無変態

昆虫が姿を大きく変化する「変態」の1つ。無変態は、卵⇒幼虫⇒成虫と3ステージを経る。不完全変態と同じステージを経るが、幼虫と成虫ではほとんど変化がなく翅が出現することもない。脱皮等で身体が大きくなるだけである。

例) シミ目

